

直教学第 764 号

令和 7 年 2 月 3 日

直方市学校規模適正化基本計画検討委員会 様

直方市教育委員会

諮 問 書

下記のことにつきまして、諮問いたしますので、調査及び審議下さいますよう
よろしくお願い申し上げます。

記

1 市立学校の規模適正化に関する基本的な計画に関すること。

(1)直方市の 目指す学校規模について検討すること。

(2)多面的な実態把握を行い、直方市の学校規模適正化に向けた課題を明らかにすること。

(3)前号の課題に対する改善の方法を検討すること。

「答申書」のイメージ

■直方市の目指す学校規模について検討すること

「直方市は、
小学校は、○○人～○○人かつ○～○学級
中学校は、●●人～●●人かつ●～●学級
の学校規模を目指していくべきです。」
その理由は、～

■多面的な実態把握を行い、課題を明らかにし、課題に対する改善方法を検討すること

- 人口（児童生徒）推計について
 - ・児童生徒数は減少しており、この減少傾向は今後も継続が予測される。
 - ・直方市の目指す学校規模を実現するために、定期的に推計を行い、最新の推計に基づいて継続的な検討が必要と思われる。
- 学校施設の状況について
 - ・施設の老朽化が進んでいる。老朽化への対応、バリアフリー化に対応した施設改修や新しい時代に即した学習環境の整備が必要と思われる。
 - ・財政状況を鑑みると、優先順位を付けた上で効率的な施設整備の検討が必要と思われる。
 - ・長寿命化計画は、作成から一定年数が経過し、規模適正化の観点を含めて検討し、修正の必要があると思われる。
- 学校を取り巻く現状
 - ・「令和の日本型教育」の構築のために・・・
- 通学区域状況について
 - ・通学に関しては、児童生徒の安全に配慮しつつ、～検討すべきです。
 - ・通学区域の見直し等で、規模適正化を図ることも有り得ると考えます。
- 地域状況
 - ・避難所として利用される学校は、～
 - ・地域と連携は重要。新たな学校と地域の交流の形について検討を～

今後の予定

～令和 7 年 8 月 検討委員会での協議 ⇒ 答申
答申後、教育委員会協議、市長との協議（総合教育会議）、
パブリックコメント、市民への説明会 を経て、
令和 8 年 1 月 教育委員会で「直方市学校規模適正化基本計画」決定
（※予定）
令和 7 年 7 月 市報折込（「直方の教育」）にて、検討進捗状況の周知
令和 7 年 11 月 基本計画（案）についての説明会実施を予定
（＝パブリックコメント実施期間）